

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

平成27年度分			
基本目標	2	愛着と誇りをもって住み続けられる暮らし・人づくりをする	
具体的な施策	ア	魅力ある学校環境の充実	
	②	郷土愛の育成	
	1	学校、地域が連携したふるさと教育の推進	
事業名	PR大使育成事業【新規】		
担当課名	教育委員会・観光商工課	所属長名	中村孔一・安永佳秀
関係課名			
事業の目的	子ども達の愛郷心を育み、進学や就職等で島を離れた後、本町のPR活動を通して町の活性化に寄与してもらうことを目的とする。		
事業の内容	町内の学生を対象とし、愛郷心を育むことを目的とした「出前講座」や「体験学習」等を積極的に推進し、島を出る直前の子ども達に、故郷の素晴らしさを改めて体感させ、町内高校全ての卒業生に観光名所や特産品等が紹介された名刺を配布し、本町のPR活動に役立てて、この卒業生が成人式の際、成人祝として希望者に個人名入りの名刺を配布し「新上五島町PR大使」として任命しPR活動を行う事業。		
事業の実績・取組状況	新規事業のため、H27年度の取り組みは無し。		
成果（できたこと）	卒業生の調査。名刺代等の積算・予算化 <観光商工課>		
課題（できなかったこと）	愛郷心を育むために、どのような施策が有効か、教育委員会と協議することができなかった。 <観光商工課>		
担当課評価	—		
課題の解決策（目標（KPI）向上に向けた今後の取組方法）	高校と事業の進め方について協議を行い、有効な事業とする。 愛郷心を育むことを目的とした「出前講座」や「体験学習」等を積極的に推進する。		
委員評価	—	次年度以降に評価	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

平成27年度分	
基本目標	2 愛着と誇りをもって住み続けられる暮らし・人づくりをする
具体的な施策	ア 魅力ある学校環境の充実
	② 郷土愛の育成
	1 学校、地域が連携したふるさと教育の推進
事業名	SKG20プロジェクト事業～「地域課題」に向き合うキャリア教育～【新規】〈再掲〉
担当課名	学校教育課
所属長名	中 村 孔 一
関係課名	
事業の目的	地域を担う次世代を地域で育てていくため、身近な地域の課題に関わる豊かな体験を通じて、人間観・社会観・職業観・生活観など地域に対する生徒の愛着や当事者意識を高め、将来、地域課題の解決に必要な広い視野や高い専門性を身につけ、直接的または間接的にふるさとでの持続可能性向上のために貢献できるよう、小・中・高校教員が連携するとともに保護者や地域住民の参画による地域全体で教育に取り組む体制づくりを目指す。
事業の内容	子どもたちが地域を知り、地域を学ぶ活動を小・中・高校が独自にそしてお互いが連携しながら地域と協働で取り組むことで、地域を愛し、将来にわたって地域を大切に、地域の発展のために努力しようとする心を育てる。
事業の実績・取組状況	新規事業のため、H27年度の取り組みは無し。
成果（できたこと）	—
課題（できなかったこと）	—
担当課評価	—
課題の解決策（目標（KPI）向上に向けた今後の取組方法）	小・中の学社連携担当の教職員及び各高校の担当者に協力を得ながら、共通理解をとる場を設定していく。
委員評価	次年度以降に評価（再掲）

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。